

仙北新報改題

秋田民報

発行所
秋田民報社
〒014-0061 大仙市大曲栄町10番22号
電話 0187-63-2122
郵便振替口座 秋田02570-3-67

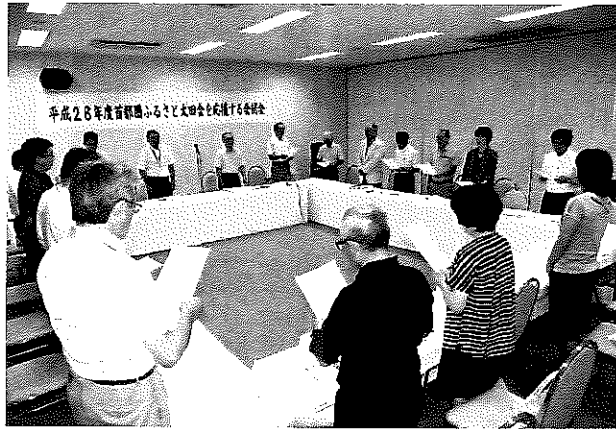
ふるさと太田会を支援

応援する会の総会

首都圏「ふるさと太田会」を応援する会(大信田哲男会長・会員34人)の総会が7月29日、奥羽山荘で開催され、今年度の事業計画と収支予算を決めた。

首都圏「ふるさと太田会」(小松信会長)は平成5年11月、太田町出身者とその家族、縁故者で構成し、ふるさとへの移り変わる情報を語り、友好、親睦を深める会として設立。会員は東京や神奈川、埼玉、千葉、茨城などに446人いる。

ふるさと太田会への郷土の情報提供するほか活動支援しながら会員との親睦を深め、発展に寄与しようと昨年7月に設立された。総会開会前に、出席者全員で、大仙市太田町出身の倉田正嗣が作詞したことで知られ



県民歌を歌う会員

る「秋田県民歌」を高らかに2番まで斉唱した。大信田会長は「太田の子ども達の活躍には妻まじいものがある。ふるさと太田会へ伝え、元気付けられればと思う」とあいさつした。

来賓として出席したふるさと太田会の佐々木牧副会長は「年々会員の減少や若い世代の入会がないなどの問題に直面していたときに、昨年応援する会が立ち上がったということを聞き、勇気と元気を頂いた」と述べた。

今年度の事業として▽ふるさと太田会総会及び主催事業等への参加▽ふるさと太田会の活動支援▽郷土の情報提供▽会員及びその家族並びに縁故者との親睦事業の実施―することを決めた。

この中で、ふるさと太田会の活動を支援しようと、地域枠予算を活用し会員活動用のはんてんを購入することに示された。この日は、素ウキスゲと黄桜の黄色

をメインとしたもので、太田地域のマスコットキャラクター「ささた」もデザインされている。

来年度はふるさと太田会が25周年記念総会を地元太田町で開催することになっている。

あいさつする大信田会長(右から2人目)



あいさつする大信田会長(右から2人目)